

身近な疑問やお答えします

こんにちは、認知症地域支援推進員です。この「認知症おたずねコーナー」では、認知症に関する身近な話題を基に、質疑応答形式でご紹介します。

認知症を正しく知ることは、ご本人やご家族だけでなく、認知症の方にかかわる皆さんの安心につながります。日々のかかわりのヒントとして、ぜひご覧ください。



Q 今まで几帳面だった父が、毎日のように「財布がない」「いつものところがない」「おかしいな、いつもここに置いてあるのに」とつぶやきながら探しています。さんざん探し回った結果、いつも座っているソファのすき間にあったりします。

私たちはホツとしますが、父は納得できません。「こんなところに入れるわけない。誰か取ったんやろ」と本気で言います。本人は嘘をついているわけでも、家族を困らせているわけでもなさそうです。こういうとき、家族はどんな対応をしたらよいのでしょうか。

A. 一緒にゆっくり探す

認知症になると、物の置き場所を覚えておく力が弱くなります。また、とどめていた記憶を取り出す「引き出し」がうまく開かないこともあります。思い出せない不安を埋めるために、「誰かが動かした」「盗られた」という考えに飛びついてしまうのです。これは性格が変わったわけではなく、記憶の穴を埋めようとする自然な反応です。

家族も本人もイライラしてしまふのは、どちらにも悪気がないのに誤解が重なるからです。家族は「またか」と思い、本人は「自分は間違っていない」と思う。気持ちがぶつかり合い、しんどさが増えていきます。ここが認知症の困りごとの一番難しいところなんです。

そんなときに、少しラクになる工夫があります。財布や鍵など、大切な物の置き場所を決めておくのもよいかもしれません。

今回のポイント

大事なものが見つからないとき、本人は不安でいっぱいです。家族もついイライラしてしましますが、これは性格の問題ではありません。記憶の引き出しがうまく開かないために起きる認知症の困りごとです。ちょっとした工夫や声かけが、本人の安心につながります。

むすびのポエム

時々、家族のアルバムを見ながら思い出を話してみませんか。思い出せたことがあったら、一つ安心の花が咲くはずですよ。

認知症 コラム

【第17弾】
認知症おたずねコーナー
～ Part 2 ～

問 1 【必須】 あなたの年齢

☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代以上

問 2 【必須】 投票日当日の投票時間が繰り上げられた場合（例：午後8時閉鎖を午後6時に変更するなど）、あなたの投票に影響はありますか？（1つ選択）

☐ 特に影響はない
☐ 当日の投票は難しくなるが、期日前投票を利用するので問題ない
☐ 当日も期日前も投票に行くのが難しくなる
☐ わからない

問 3 【必須】 投票日当日の投票時間を「繰り上げる」ことについて、どのように思いますか？（1つ選択）

☐ 賛成（※ 問4へ進んでください）
☐ どちらかといえば賛成（※ 問4へ進んでください）
☐ どちらかといえば反対（※ 問5へ進んでください）
☐ 反対（※ 問5へ進んでください）
☐ どちらともいえない／わからない（※ 問5へ進んでください）

問 4 投票時間を繰り上げる場合、何時まで繰り上げるのが妥当だと思いますか？（1つ選択）

☐ 午後7時まで ☐ 午後6時まで

問 5 【必須】 現在、町内に23ヵ所の投票所があります。人口減少により投票所を統合する自治体もありますが、投票所の数についてどのように思いますか？

☐ 集約すべき ☐ 現状のままでよい

問 6 【必須】 投票所が統合され投票所が遠くなった場合、どのような支援があるとよいと思いますか。（1つ選択）

☐ 移動期日前投票所の実施
☐ 旧投票所から新投票所までの移動支援（巡回バス など）
☐ その他

()

ご協力ありがとうございました

問 地域包括支援センター（福祉課内） ☎ 43-9021